



第 21 号

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》 発行 日 平成 30 年 3 月 1 日
福島県田村市立大越小学校 発行責任者 校長 根内 喜代重

自分たちの力で！

2 月 21 日（水）、3～6 年生が参加して「児童会活動のまとめの会」が行われ、各委員会（ボランティア、図書、美化、保健給食、放送、スポーツ、スクールニュース、代表委員会）から「活動めあて」、「がんばったこと」、「次年度に向けて」の発表がありました。参加児童からは、「手作りのポスターが美化意識を高めています。」、「インクカートリッ

～よいよい学校づくりをめざす児童会総会～



前向きな質問であり、ていねいな説明でした！



ジ集めなどたくさんの人を幸せにする活動をしてくれました。」、「玄関そうじや体育倉庫の片付けなどをしていただき、ありがとうございました。」などの活動意欲を引き出し、よりよい学校づくりに大いにつながる意見や感想がありました。

最後に体育館で「〇×クイズ」を行いました。出題は、「おすすめ本の紹介の回数」や「牛乳パックひらきの時期」など、児童会活動に関係するものばかりで、みんなで楽しみながら確かめることができ、下級生たちも 6 年生の頑張りをしっかり継承してくれると思います。

寒さに負けず、みんなでジャンプ！

～校内なわとび大会～

冬場の体力増進と頑張る力を育むことをねらいに、2 月 16 日（金）低学年・19 日（月）中学年・20 日（火）高学年の 3 日間にわたり、「校内なわとび大会」を行いました。

まずは、1～3 分間（低～高学年）の合格を目指した「持久跳び」への挑戦です。跳んでいるうちに 10 秒がとても長く感じてきますが、粘り強く頑張りました。

種目とびは、自分の得意とする 2 種目に挑戦しました。高学年は、チームごとに長縄の回数とびにも挑戦しました。もうすぐ使用できる校庭での体力づくりにつなげましょう。



放射線って、どんなもの！ ～放射線教育指導方法等研修会～

2月20日(火)、本校を会場に、各校における放射線教育の一層の充実を図ることを目的として開催され、本校の教員とともに市内の小・中学校から参加した教員が放射線教育における指導方法の工夫・改善などについて研修しました。講師として、鳥取大学 生命機能研究支援センター 北 実(きた まこと) 先生が本校の6年生を対象として授業「健康な生活を送るために」を公開しました。



考えを交流する子どもたち！

主な内容は、放射線に関する基礎知識について学んだ後、県外へ転向した児童の体験事例をもとに、風評被害についてのグループディスカッション、まとめと発表を行いました。子どもたちは、自分なりに根拠を明らかにしながら発言していました。なお、放射線教育のねらいは、「放射線などについての知識やその影響などを正しく理解し、生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送ることができるようにすることが主なねらいです。

みなさんの入学、楽しみに待ってます！～体験入学・保護者説明会～



りっぱな2年生になれますね！

2月14日(水)、保護者の皆様へ入学に向けての諸準備や学校の概要についてのご説明とともに、学校薬剤師の佐藤 善嗣様を講師としてお招きし、『子どもの健康と親の役割』などについてお話をいただきました。

これからの子育てに貴重な勉強の機会となりました。その間、新1年生になる23名は、現1年生とお店屋さんごっこなどをして交流を楽しみました。

大きな希望を胸に入学式を迎えられること

を大越小学校全員で願っています。

「くすり」の正しい知識を身につけよう！～薬物乱用防止教室～

佐藤 善嗣 様には、家庭教育学級に引き続き、2月23日(金)にも6年生が薬物乱用防止にかかわる保健の授業でご指導いただきました。

「くすりとは?」、「薬物とは?」など、真剣な表情で話を聞き、ノートにまとめる姿勢からは、自分の健康や命にも関わる大切な勉強であることを実感しながら学んでいることがしっかりと伝わってきました。

